
2019年度
町田市の行政経営に関する
学生ワークショップ報告書

2019年12月
政策経営部経営改革室

I

ワークショップの概要

1

目的

本ワークショップは、2019年度町田市インターンシップ生及び第1回行政経営監理委員会に出席した学生を対象に、町田市の行政経営に関する市民ニーズ等を把握し、新たな経営基本方針を作成するための基礎資料を得ることを目的に実施したものです。

2

実施方法・期間

(1) 対象者

2019年度町田市インターンシップ生	12名
第1回行政経営監理委員会に出席した学生	21名

(2) 実施時期

2019年9月25日、27日

(3) 実施手法

行政経営において、より広く学生から意見を集めるため「ワールドカフェ方式」の要素を取り入れて実施した

《ワールドカフェ》

知識や知恵は、機能的な会議室の中で生まれるものではなく、人々がオープンに会話を行い、自由にネットワークを築くことのできる「カフェ」のような空間でこそ創発される、という考えに基づいた話し合いの手法



- ◎ インターン前後の意識の変化について
- ◎ 行政経営監理委員会の内容について
- ◎ 理想の組織像、人材像について
- ◎ 今後の行政経営の方向性について . . .

(募集チラシ)

インターン生のみなさま 町田市の行政経営を考えよう!

学生ワークショップ 参加者大募集

日時	会場
9月25日(水) 17時~19時30分	市役所3階 3-1会議室

☁️ Let's think ☁️

- 🔍 町田市で働いてみてどう感じた?
- 🔍 どんな職場で働きたい?
- 🔍 成長できる職場ってどんなところ?
- 🔍 自分の住んでいる市の財政状況って知ってる?
- 🔍 町田市の行政経営って何だろう?

「学生ワークショップ参加意向確認票」にご記入お願いします
※お申し込みは9月20日(水)までです。お申し込みは市役所3階3-1会議室までお願いします。

本日16時30分に回収に参ります!
※お申し込みは9月20日(水)までです。お申し込みは市役所3階3-1会議室までお願いします。

主催 町田市政策経営部経営改革室 (TEL / 042-724-2583)



Ⅱ

ワークショップの結果

1

公務員・市役所のイメージとギャップ

(1) テーブルでの主な意見

公務員・市役所のイメージ

<公務員のイメージ>

- ・安定していそう、固そう
- ・真面目な職員が多く、年功序列
- ・市役所の営業時間が8-17時なので定時で退社しているイメージ
- ・デスクワークが多そう
- ・確実にボーナスがもらえている
- ・税金を納めるのではなく、取られるというイメージ
- ・与えられた仕事を黙々とやっていそう
- ・書類仕分けや窓口だけをやっていそう
- ・育児休暇とかも取得しやすそう

<マイナスイメージ>

- ・窓口対応、接客があまり良くないイメージがある
- ・市民の意見を聞いてくれないイメージがある
- ・固い接客で市民が委縮してしまいそうなイメージ
- ・窓口で市民から理不尽なことを言われてそう
- ・行政に関わることが自分の生活であまりないので、実際のところよく分からない

<プラスイメージ>

- ・民間企業は個々で対応することが多くありそうだが、市役所は、皆で一つのことをやっていそう
- ・みんなで取り組むため、やりがいありそう、楽しそう
- ・利益より地域のために働く
- ・ゆとりがあって、落ち着いていて働くことができそうなイメージ

インターンを経験した感想

<職場の雰囲気ギャップ>

- ・職員同士のコミュニケーションが盛んで驚いた
- ・窓口対応をしているだけではなく、現場対応や電話対応なども多く驚いた
- ・職員がいろいろ声かけしてくれて、馴染みやすかった
- ・職員に質問しやすくてよかった
- ・インターン中はやることがたくさんあり、スケジュールはみっちりだったが楽しかった
- ・市民対応などが大変だったけど、楽しかった

<仕事内容のギャップ>

- ・市民や事業者からの申請を受け付けするだけの仕事だと思っていたけど、施設管理もしている
- ・市役所の業務内容の多様さに驚いた
- ・電話や窓口対応など、所掌事務に書いていない仕事がたくさんあった
- ・定時で帰れると思っていたけど21時くらいまで普通に働いている
- ・市民に対して、できないことはできない、でもこうならできると対応するなど提案しながら、親身になってちゃんと話を聞いている

(2) 町田市への提案

- ・行政に対する信用度を高めていくと良いと思います
- ・市役所のイメージを改善し、職員の頑張りを伝えていくと良いと思います

(1) テーブルでの主な意見

理想の姿（こんな職場で働きたい！）

<個々の価値観に合った多様な働き方ができる職場>

- ・在宅ワークなどができる、容認してくれる雰囲気がある職場
- ・自分が働きたい時間や場所を自由に選択できる制度がある職場
- ・フレックスタイム制やテレワークなど、多様な働き方ができる職場。また、そうした働き方に理解がある職場
- ・子育てしながらもしっかり働ける職場
- ・自分の身の丈に合った仕事ができる職場
- ・ワークライフバランスを保って、仕事とプライベートのメリハリがつけられる職場

<前向きにチャレンジできる職場>

- ・古いやり方に固執せず、新しいやり方を提案できる雰囲気のある柔軟な職場
- ・前例踏襲ではなく、変化を受け入れ、より良いものを作ろうとする雰囲気のある職場
- ・新しいことに挑戦しやすい雰囲気がある職場
- ・新しい意見を積極的に取り入れ実行に移していく職場
- ・市の抱えている課題の解決に向けて皆で取り組んでいる職場
- ・自分の持っていないスキルを習得でき、成長できるような職場

<年齢やキャリアを問わず、アイデアを意見することができ、採用もされる職場>

- ・風通しがよく、意見を言いやすい雰囲気がある職場
- ・良い意味で上下関係がありつつも、下からも気軽に意見が言える職場
- ・若手の意見を採用してくれる職場
- ・若い人でも上に立てる職場
- ・対等に意見を言い合えるけれども、責任をもって方向を決定してくれる人がいる職場
- ・方針を決定する人以外は、フラットに意見を出し合える職場
- ・年齢関係なくトップに立てる職場
- ・実力主義で活躍できる職場
- ・上司や同僚、後輩、どの立場の人でも、自分のアイデアを言える雰囲気がある職場
- ・年齢に関係なく、自分の持っているスキルを活かせる職場

(2) 町田市への提案

- ・多様性を認め合い、柔軟な働き方ができる職場環境だと魅力を感じます
- ・各職員が持つ個性、スキル、経験等が十分に発揮される組織づくりをしたいと思います
- ・主体性を持って、新たな課題に即応できる組織だと良いと思います

(1) テーブルでの主な意見

行政経営に関する情報について

<行政経営情報への興味・関心>

- ・市の予算などが広報誌に掲載されていることは知っているが読む気がしない
- ・行政経営の情報は難しそう、分かりにくそうというイメージがあるけれど、市民として知らなければならぬ情報だとも思う
- ・普段、生活していて行政経営の情報に興味を抱くことはあまりない気がする
- ・特に、若者は行政経営に興味を持つことは少なそう、親世代であってもあまり興味はないと思う

行政経営に興味を抱いてもらうには

<ありのままを伝えるべき>

- ・町田市の現状や今後ますます財政状況が厳しくなっていく可能性があるということをしっかりと市民に伝えることで、市民から協力してもらいやすくなるのではないか
- ・財政が厳しいのであれば、「このくらい厳しいんだよ」ということを市民に伝える義務（説明責任）が行政にはあるのではないか
- ・市民に対し、「行政はこんなにお金なくて、課題もいっぱいあって、困っているんです」と全てをさらけ出すと良いのではないか。そうしたら、市民も助けてあげなくてはどういう気持ちになる。
- ・上手に仕組みをつくれれば、民間企業も企業イメージアップのために、行政を手伝ってくれるケースも増えるのではないか
- ・税金が何に使われているのか分かりにくい。使い道を分かりやすく示し、クラウドファンディングで資金を集めてはどうか。例えば、自分に身近な施設の修繕に使うということが分かれば、集金効果があるのではないか

<発信内容・方法を工夫するべき>

- ・年1回だけではなく、SNSなどを活用して、何度も発信していくとよいのではないか
- ・自分に必要な情報が分かりやすく発信されていけば興味・関心が高まる
- ・取り組みの成果を目に見えるように発信していくべき
- ・そもそもあまり興味がないのだから、情報発信のあり方をかなり工夫してくれないと発信する意味がないのではないか

<ブランディングが必要>

- ・町田にしかないものを作り、PRすると良いのではないか
- ・「町田＝コレ」がない。町田市のブランドイメージが必要だと思う
- ・住んでいる人が愛着や誇りを持てるようなまちづくりをして欲しい

(2) 町田市への提案

- ・行政経営状況に関する情報発信は、伝え方や発信内容を工夫すると良いと思います
- ・人や企業などを惹きつけるよう、町田市の魅力を高めると良いと思います